

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【公開番号】特開2005-239887(P2005-239887A)

【公開日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-035

【出願番号】特願2004-51884(P2004-51884)

【国際特許分類】

C 08 F 220/26 (2006.01)

C 08 F 2/44 (2006.01)

C 08 F 290/06 (2006.01)

G 02 C 7/10 (2006.01)

【F I】

C 08 F 220/26

C 08 F 2/44 B

C 08 F 290/06

G 02 C 7/10

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月21日(2006.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

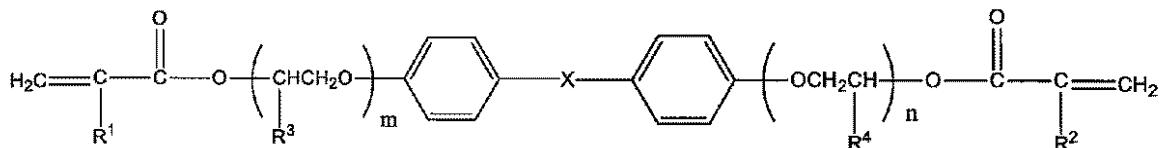
【補正の内容】

【請求項1】

(I) : (I-1) 下式(1)で表される2官能重合性单量体からなる成分7~20質量%、(I-2)下式(2)で表される2官能重合性单量体からなる成分10~60質量%、(I-3)下記式(3)で表される多官能重合性单量体からなる成分1~15質量%、及び(I-4)前記(I-1)乃至(I-3)の何れにも該当しない重合性单量体からなる成分5~82質量%からなる重合性单量体組成物100質量部並びに

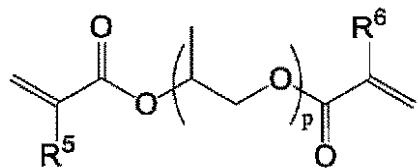
(II) : フォトクロミック化合物0.001~5質量部を含有してなることを特徴とする重合硬化性組成物。

【化1】



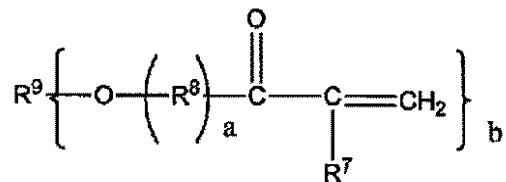
{式中、R<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>はそれぞれ独立に水素原子又はメチル基であり、R<sup>3</sup>及びR<sup>4</sup>はそれぞれ独立に水素原子又は炭素数1~2のアルキル基であり、基-X-は-O-、-S-、-S(=O)<sub>2</sub>-、-C(=O)-O-、-CH<sub>2</sub>-、-CH=CH-又は-C(=CH<sub>2</sub>)<sub>2</sub>-で表される基であり、m及びnはm+nが2~30となる整数である。}

【化2】



{式中、R<sup>5</sup>及びR<sup>6</sup>は、それぞれ独立に水素原子又はメチル基であり、pは1～4の整数である。}

【化3】



{式中、R<sup>7</sup>は水素原子又はメチル基であり、基-R<sup>8</sup>-は-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>O-、-CH<sub>2</sub>CH(CH<sub>3</sub>)O-又は-C(=O)CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>O-で表される基であり、R<sup>9</sup>は3～6価の有機残基であり、aは0～3の整数であり、bは3～6の整数である。}